

アメリカにおける性的子ども虐待の実態とその問題点*

市 来 恵 子

1. 緒言

アメリカでは、1960年代より子ども虐待に社会的関心がたかまり、1947年には児童虐待防止法 (Child Abuse Prevention and Treatment Act) が制定され、子ども虐待を見たり聞いたりした場合届け出ることが義務づけられた。毎年約650万人もの子どもが、打たれたり、無視されたり、性的ないたずらを受けたりと、虐待の犠牲になっている¹⁾。アメリカで生活していると、子ども虐待が大きな社会問題であることを痛感させられる。子ども虐待ホットラインの無料長距離電話番号を1時間おきにテレビで知らせたり、ペアレント・アノニマス、つまり、親の破壊的態度を建設的なものに修正しようとする協会の所在地や連絡先を教えるコマーシャルを流したり、また、子ども虐待の記事が毎日のように新聞に報道されていたようである。

本報は、現代アメリカにおける性的子ども虐待の実態を述べ、その問題点を指摘することによって、わが国における同様な問題の解決を計る上での手がかりに資せんとするものである。なお、筆者自身、5年間のアメリカ滞在中、実際に子ども虐待で苦しむ家族と接する機会があり、また、カリフォルニア州性虐待予防センターを視察する機会をも得たので、その経験や観察をも含めて述べていこうと思う。

2. 子ども虐待

子ども虐待を明確に定義づけるのは容易ではない。何を「虐待」と定義するかは文化によって、また、時代によっても異なってくるからである。ここでは、一応、子ども虐待を親、またはそれに代わる大人が子どもに身体的、精神的、性的に暴力を加えること、および遺棄することと定義しておく。

身体的虐待とは、子どもの身体に危害を加えるもので、子どもをバットやベルトで打ったり、たばこの火で焼いたり、壁に投げつけたり、子どもの毛髪を引っ張り頭をハゲ同様にしてしまうことなどで、病院に運び込まれて応急処置や手術を必要とするケースも少なくないし、死亡する場合もある。

精神的虐待とは、子どもの養育過程で親が愛情を持って子どもに接することを拒絶すること。たとえば、親が赤ん坊の泣き声や笑い声を叱責したり、身振りや愛情で応答せずに、子どもを

*：平成2年5月26日、第42回日本家政学会年次大会（於中村学園大学）にて発表

無視すること等を意味している⁹⁾。

性的虐待とは、子どもを性的に虐待することで、(1)性的ないたずら (2)強姦 (3)近親相姦 (4)幼児のポルノ写真を撮ったり、子どもに性交の姿勢をさせるなどの行動が含まれる⁹⁾。

遺棄とは、子どもの生存に不可欠な基本的物資の供給を故意に怠る事を言い、その物品とは、衣・食・住、全般にわたっている。遺棄の発生件数は、身体的虐待の3倍と言われ、200万件を越えると推定されている⁹⁾。

3. 性的子ども虐待

子どもが性的虐待を受けたとする報告は、1986年度全米で約32万5千件あり、このことは報告件数がこの10年間で20倍以上もふえたことになる⁹⁾。しかし虐待を受けても報告されないケースが多く、実際の虐待件数は年間50万から100万件だと推定されている。性的虐待を受けた子どもの平均年齢は11才だが、性的虐待を受けた子どもの1/5は7才以下であり、1才以下の赤ちゃんにも虐待は起きている。虐待を受け続けた年数は平均7年間であり、調査によれば女子の1/4、男子の1/11が18才迄に何らかの形で性的虐待をうけている⁹⁾。このように虐待を行うのは、圧倒的に男性(97%)であり、虐待を受けたのは多くが女性(87%)である⁹⁾。これら虐待の内およそ80%は子どもたちの良く知っている、そして信頼している大人達、たとえば父親、義理の父親、祖父、母親の男友達、幼稚園の先生やボーイスカウトリーダーなどであり、ほんの10%近くが、まったく見知らぬ大人からのものである⁹⁾。このように見知らぬ人からの虐待が少ないのは、虐待をしようとする人の多くは、まず子どもに近づくことを望み、子どもと仲良くなってから、子どもに性的虐待を行うのが一般的だからである。

性的虐待を受けた子ども達の44%は近親相姦であり、それは父親や兄など多くの場合、同じ家に住む家族の一員からであり、義理の父親が娘を虐待する割合は、実の父親が娘を虐待する場合の5倍から8倍とされている⁹⁾。Parent United というカリフォルニアの研究者集団において、心理学者ギアレット教授は、アメリカ人は約6人に1人の割合で、なんらかの形で近親相姦を経験していると推定している¹⁰⁾。

The Secret Tranma :Incest in the Lives of Girls and Women. の著者であるダイアナ・ラッセルは、無作為に選んだ930人の女性、一人一人にインタビュー調査をした。その結果、16%に当たる152名が、18才迄に近親相姦を経験しており、内95%は近親相姦されている間、その虐待者と同じ家に住んでいたことが分かった。虐待者は、義理の父、父、祖父、叔父、兄、義理の兄などであるが、30%が義理の父、父、からのものであり、義理の父の相姦率は実の父の8倍であった。近親相姦を受けた152名の婦人達の多くは高所得者層で、近親相姦を受けていない婦人達より、少し高い教育水準であった。これらのことにより、ラッセルは、近

親相姦は貧富の差や教育水準に関係なく、全ての社会層に当てはまる現象だと報告している。また、人種の違いでは、ラテン系が一番近親相姦率が高く（20%）、白人17%、アメリカ黒人16%、アジア人とフィリピン人は、それぞれ、8%であった¹³⁾。

近親相姦以外の例として、1984年カリフォルニア州マクマーチン幼稚園において、園長他、6人の先生が10年間にわたり、幼稚園児少なくとも100人以上に、性的虐待をしていたことが報告された¹²⁾。これをきっかけに、多くの州で幼稚園・保育所での性的子ども虐待が次々と明るみにされ、この事件は性的虐待をアメリカ中に再度意識づけることになった。

4. 性的子ども虐待の予防策、および被害者・加害者への救済措置

アメリカでは、これら性的子ども虐待に対し数多くの予防策、被害者、加害者への救済措置を行っている。1977年、子ども虐待防止プロジェクト（Child Assault Prevention Project, 略称C. A. P.）、が設立され、全国の幼稚園、小学校で教員、親、子ども達にロールプレイやディスカッションなどを通して予防を訴えている¹³⁾。また、アメリカ最大の教員の組合であるNational Education Associationでは1984年9月19日声明を発表し、防止のための教材を各学校に配布し、授業で使用するよう指導を促した¹⁴⁾。Primary Prevention Programでは、全ての公立小学校で児童およびその親に防止法を教えており、National Child Abuse Hotlineはベテラン・カウンセラーを24時間電話口に待機させ、緊急避難シェルターの場所を教えるなど、全国からの無料電話に対応している。子どもを犯すことに反対する母親の会（Mothers Against Raping Children）通称 New Underground Railroad は、犯された子どもとその母親を助けるための全国組織であり、ここでは数千人の母親がボランティアとして、ひそかに子どもやその母親を助けている¹⁵⁾。性虐待を犯した加害者には、Parent Anonymosのグループが、全国1,500の支部と無料電話サービスで対応しており、すでに25万人以上の加害者をカウンセリングしている。また、Parent Unitedでは加害者を立ち直らせるための講座を、全国に110持っている¹⁶⁾。テレビでも防止を訴える番組が多く流されているが、その中でも“子ども性虐待：あなたの子どもが知っておくべきことは何か”の番組では、子どもに、どのような人でも勝手にあなたの体にふれさせてはいけない。いやなタッチには、大声で“No”と言おう。気持ち悪いというフィーリングを大切に、そのことをハッキリ口にだして言おう。と強く教えている¹⁷⁾。

私は1988年8月、カリフォルニア州デービスにあるSexual Assault Center, C. A. P. Projectを視察した。当センターではトレーニングを受けたカウンセラー3人が、交替で24時間電話受付をすると共に、被害者が望めば、法的手続き、24時間体制の医者との連絡、医者への付き添い、性病、妊娠への対応、政府から被害者への援助金などについて、こと細かに対応

していた。また、C. A. P. では、幼稚園、小学校などを2人1組で訪問し、予防教育のための劇やロールプレイングを行っていた。訪問したカリフォルニア州デービスの幼稚園でC. A. P. の2人が29人の子供達に次のような劇をしていた。

.....

(4才の女の子ダイアンが座ってテレビを見ている。叔父のハリーが入ってくる)。

H: ダイアン! ぼくを覚えているかい? おじさんのハリーだよ。しばらく見ない間にずいぶん大きくなっただね。.....テレビを消そうよ (テレビを消す)。

(ダイアン怒った顔をしている)。

H: ダイアン、ハリーおじさんに、キスしてちょうだい。ここ、唇にね。大きなキスをしてちょうだい。

(彼女の顔を押しさえて、自分の顔をダイアンに近づける。彼女に力のこもったキスをする)。

(ダイアンろうばいする。ショックを受ける。逃げようとするが逃げられない)。

D: お母さん、どこ?

H: お母さんは台所だよ。このキスのことは、ぼくとダイアンとの二人だけの秘密だよ。絶対に誰にも話しては、ダメだよ、わかったね。

.....

劇の後、C. A. P. の二人は子ども達に次のような質問をした。

ダイアンは、ハリーおじさんとキスしたかったかしら? ダイアンは、ハリーおじさんにどう言うべきだったかしら? あれは良いキスかな? もし誰かが、キスしたり、さわったりして、このことは秘密にしようと言っても、その通りにしないでいいのよ。これは悪い秘密だから。誰かにすぐ言わないといけない。誰に言う? もしまた、ハリーおじさんが来てキスをしようとしたら、どうしたらいい? そうね、(1) すぐ誰かに言う、(2) ハッキリNo! と言う (3) 部屋からすぐ出ていく、だったね。

この劇の後、次のような腹話術をしていた。

.....

子供: お母さん、おばあちゃんの家に行ってもいい?

母親: いいけど、規則を覚えている?

子供: 覚えてるよ、知らない人とは話さない、歩道を歩くこと、頭をしっかりと上げて歩く。もし知らない人に会ったら離れて立って、両手はポケットから出しておくこと。でもなぜ離れて立たないといけないの?

母親: もし、あなたをつかまえようとしても、離れていれば逃げる事ができるでしょう。

子供: でも、もしつかまったら、どうしたらいい?

母親: 蹴る、でも高くは蹴らない、自分がコケちゃうから。他に何ができるかな?

子供：大声を上げる、足を踏みつける、かみつく、引っかく。

.....

5. 問題点

性的子ども虐待は、アメリカ社会に様々な問題点をなげかけている。

カリフォルニア州は1983年1月、教師やボーイスカウトリーダーなど、子供に係わる仕事を持つ人、全てに、指紋を登録するよう法律で義務づけた。ジョージア州では、保育所・所長の指紋と、教員全員の犯罪歴のチェックが法律で義務づけられた。また、多くの州では同様な法律が出され、子ども相手の仕事をしている大人達は、子どもの教育の場にいることで、子どもを性的に虐待するかもしれない、しているかもしれないと見られるような誤解や、悪意による虐待の訴えを恐れ、そのため、仕事を失うのではないかと心配している¹⁹⁾。

弁護士プレガーによれば、1979年度、約3万人の性的子ども虐待加害者に対して、刑務所または州の精神病院へ送られたものは162人にすぎなかったとある。1980年度の統計では、加害者の95%が一日も刑務所に入ることなく釈放されている。1980年、子ども性的虐待犯にもっと厳しい法律をと、一般市民が立ち上がり、Stronger Legislation Against Molesters (SLAM) が結成された¹⁹⁾。しかし、証人が年端のいかない子どもの場合、尋問する側の思惑に左右されることがあるという研究結果も出ており、訴訟で事の真偽を判断することはむずかしい。また、被害者が幼すぎて証言できなかったり、証拠不十分で不起訴となる事例も多く、また、誤解や悪意による訴えも、悪くすれば3割はあると考えられている²⁰⁾。「パパとお風呂に入ったの」などと子どもに言われると、母親はつい心配してしまい、まさかと思いつつも子どもを問いつめていく。その過程で母親は、それと知らずに子どもに被害者意識を植えつけてしまうこともある。性的虐待にあったとされる子どもは、心理学者や検察官、児童保護官から質問責めにあうことが多い。その際に、子どもの答えが歪められることも考えられる。さらに子どもの場合、「どこを触られたの?」といった抽象的な質問には、そううまく答えられない。そうすると、大人は具体的に体の部分を指して「ここを痛くされたの?」といった聞き方をしたくなる。こうした質問の仕方がいかに誘導的かは、多くの面接記録を見れば明らかである。尋問で多用される方法に、人体そっくりの人形を使って、子どもに「現場」を再現させる方法がある。しかし、これは暗示性が高いという理由で許可しない法廷が多い。子どもが無表情に淡々と証言する場合は要注意、大抵はうそだと言う説もある。3才児が「勃起」とか「オーラル・セックス」と言った言葉を使うのは、大人に影響されている証拠だとする説もある。だがこうした表現も、ませた子どもなら平気で口にすることもかもしれない²⁰⁾。

唯一の証人は子どもだが、今はこのように子どもの証言も無条件には信じられない。もし虐待

が事実だとすれば、子どもは取り返しのつかない傷を負ったことになる。逆に事実でなかったら、告訴されたと言う事実だけで被告の人生は台無しになりかねない。事件は両親、検察官、弁護士の間でほとんど感情論のレベルで争われる。心理学者も決定的な答えを出せないケースが多い。まったく正反対の調査結果が双方から山のように提出され、一方の側は、いたずらを受けた子どもの記憶は正しいと言い張るし、もう一方は間違いは良くあると主張する。直腸や膣の擦過傷といった動かぬ証拠が無い限り、虚偽の申し立てと真実の訴えを区別する確実な方法はなさそうだ。

性的虐待を受けた子ども達は、長期にわたって苦しむことになり、多くの場合彼ら自身が加害者となって、自分の苦しみと怒りを、小さな子どもにぶっつけている。子ども時代の汚点が生涯、誰をも信頼できない、また、誰とも親しくつき合えないと言う不幸を、彼らに与えているのである²¹⁾。近親相姦の心理的被害は、子どもの年齢が幼いほど少なく、思春期に近づくほど傷が深い。自己への尊敬を失い、女性としての性の破壊性をおそれ、性関係は女性が一方的に利用されるのだと固定化した考えを持ってしまわれると言われている。後年、被害児たちが売春、薬物中毒、アルコール中毒、自殺、同性愛、不感症などの問題を起こす原因が、このような時期の体験と関係あることが多いと思われる²²⁾。

6. 結語

社会学者グードは「人間の暴力行使度は社会的環境に左右される」と言い「人間は幼少から家庭での社会化過程を通じて暴力のダイナミックスを学習している」と言っている。性的子ども虐待では、権力を多くもっている人が、権力を少ししか持ち合わせない人を利用しており、虐待者には自分を抑制する力、押さえる能力のないことが問題だと思われる、自らの内的な衝動をコントロールし、ある行為の妥当性を自ら決定する能力を養成することが、性虐待を防止する抜本的な対策であると思われる。

家庭内における暴力行為には、一定の伝達チャンネルがあるようだ。すなわち幼児期に虐待されたものは成人して老親に暴力を振るうし、また、自らの子どもに対しても暴力を振るう。ストラウス教授も、親から虐待されて育った子どもは、成人して自らが子どもに暴力を振るう親となる確率が高いと言っている。このようにして行われる暴力の伝達経路が、家庭内でシステム化して、固定化して行くと考えられる。幼児期において、このような暴力伝達の経路に組み込まれ、暴力を体験することによって、暴力行為の役割学習が促進され、これを容認する価値観が形成されると考えられる。現代アメリカにおける性的子ども虐待の背景には、次のような社会的諸要因があると思われる。第一に、家庭内で役割期待関係がゆるみ、新しい役割体系が確立できない状態にあるということ。第二に、たとえば教会や地域社会における価値規範がゆ

るみ、新しい秩序が未だ確立できない状態にあるということ。第三に、暴力肯定の社会化、あるいは暴力の日常化、再生産が家庭内において行われるようになったということ。以上の結果として、徹底した暴力否定の観念様式が失なわれることになったものと考えられる。アメリカの現状を対岸の火事と見るのではなく、この研究を通して、今後日本での問題解決の参考にする事を課題にしたい。日本においても性的子ども虐待を防ぐため、幼児から性教育の必要性や性犯罪への対応を社会全体で考慮すべきであると思われる。

文献

- 1) Jeannye Thorn Thornton : *U. S. News and World Report*, January 23 (1984)
- 2) 熊谷文枝 : アメリカの家庭内暴力、サイエンス社, 1983, p. 64.
- 3) Joy Berry : *Keep Your Child Safe from Sexual Abuse*, Newark, New Jersey, 1984. p. 3-4.
- 4) Marrin J. Fine : *Handbook on Parent Education*, Academic Press, New York, 1980. p. 248.
- 5) John Leo : *Newsweek*, November 30 (1989).
- 6) The C. A. P. Training Center : *Adult Workshop Information*, Berkeley, CA., p. 58.
- 7) *Woman Against Rape : Preschool Project Training Manual*, Columbus, Ohio, 1983. p. 18.
- 8) Joy Berry : *Keep Your Child Safe from Sexual Abuse*, Newark, New Jersey, 1984. p. 6.
- 9) 熊谷文枝 : アメリカの家庭内暴力、サイエンス社, 1983. p. 97.
- 10) Jeanny Thornton : *U. S. News and World Report*, January 23, 1984, p. 66.
- 11) Marilyn Yalom : *Review of Japanese Culture and Society*, 3, 47-52 (1989)
- 12) *Time*, April 2, 21 (1984).
- 13) Ezra Bowen : *Time*, November 12. 91 (1984).
- 14) William L. Chaze : *U. S. News and World Report*, Oct. 1, 73-74 (1984).
- 15) Liz Galtney : *U. S. News and World Report*, June 13, 22-24 (1988).
- 16) Jeannye Thornton : *U. S. News and World Report*, Jan. 23, 66 (1984).
- 17) Joan Costello : *Parents*, March, 80 (1986).
- 18) William L. Chaze : *U. S. News and World Report*, Oct. 1, 73-74 (1984).
- 19) John Leo : *Time*, April 23 (1984).
- 20) David Gelman : *Newsweek*, November 13. 99-100 (1989).
- 21) John Leo : *Time*, April 23 (1984).
- 22) 西川祐一 : 日本医師会雑誌, 103, pp. 1489-1492 (1990).